



モダン寺新聞
～今号の記事～

一口法話 「お彼岸をむかえて」
神戸別院行事レポート
「お仏壇の莊嚴」
浄土真宗のお作法
神戸別院法座案内・編集後記

4P 3P 2P 1P

一口法話 「お彼岸をむかえて」

本願寺神戸別院輪番 高橋廣爾

「暑さ寒さも彼岸まで」といいますが、本来、仏教行事である「お彼岸」は、今日、季節の変わり目の「春分の日」「秋分の日」として国民の祝日ぐらいに思っている人が多いのではないでしょうか。

「彼岸」とは「向こうの岸」ということで、古いインド語の「パーラミター」を漢語で「到彼岸」と訳したもので。そのことは、私が生活をするこの世

(此岸)から悟りの世界(彼岸)に到る道として、仏教の教えを聞くという大切な仏教行事なのです。

国民の祝日を定めた法律には、春分の日は「自然をたたえ、生物をいつくしむ」と制定の趣旨が述べられています。それは、自然や生物の「いのち」を大切にすることを通して私のいのち(人生)を考えることでありますから、せめてお彼岸の間に、お寺で仏教の話を聞かれるという、それにふさわしい一日を過ごされてはいかがでしょうか。

阿弥陀経に「共命鳥」という胴が一つで頭が二つある鳥がいると説かれています。「一つの命を共に生きている。もし、そのことに気づかないで、二つの頭が争い合うと、共に命を失ってしまうよ。ひとつ命を共に生きていることに目覚めなさい。」

共命の鳥は、今、彼岸の世界から私にそう呼びかけてくださる仏さまの説法なのです。

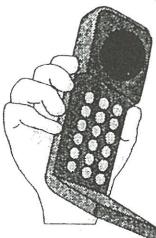
お墓にお参りし、亡き人を偲ぶことも大切なことです。ですが、私の人生を問う教えに出遇うことが、もつと大切です。

お彼岸は、聞法が中心であることを心したいもの

モダン寺 テレホン法話 (078)341-8546

毎週月曜日ごとに法話の内容が変わります。

いつでも、どこでも聞いていただけます。



◇◇◇ 神戸別院行事レポート ◇◇◇

親鸞聖人報恩講に多数来院！

平成十一年十一月二十七日(土)から二十九日(月)までの三日間、宗祖親鸞聖人九十一年のご遺徳を偲ぶ「報恩講」をお勤めいたしました。三日間でのべ五百名の方のお参りをいただき、参拝者の方々と共に親鸞聖人よりお伝えいただいた「お念佛のみ教え」を味あわせていただきました。

本願寺では一月九日(日)から十六日(日)までの一週間「御正忌報恩講」がお勤まりになりましたが、多くのご門徒の方々がお参りに向かわれたことでしょう。



年始にはお寺にお参りを

一月一日(日)の元旦会(修正会)を別院本堂にてお勤めしました。特に、早朝七時という早い時間にもかかわらず多くの

「命の大切さ」を



阪神・淡路大震災物故者追悼法要 第五回「モダン寺夕暮コンサート」開催

私たちに深い悲しみと甚大な被害をもたらした「阪神・淡路大震災」から丸五年を迎えました。

一月十九日(木)に追悼法要を別院本堂にて行い、今年も多くの方のお参りがあり、亡くなられた方に哀悼の意を捧げると共に、「命の大切さ」を

方のお参りをいただき、お勤めに引き続き、神戸別院輪番高橋廣爾より年頭のご挨拶を申し上げ、職員との年頭の交歓会を行いました。

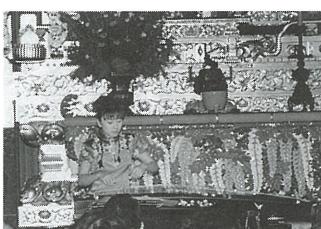
「初詣」＝「神社」というイメージが強いのでしょうか？なかなかお寺に初詣に来られる方が少ないよう思いますが、初詣は「新年の初参り」ということですから、ご門徒であれば当然所属のお寺もしくはご本山にお参りしていただきたいものです。



神戸別院からのお知らせ

神戸別院では「仏教婦人会」「土曜子ども会」などの活動をしています。

「婦人会」といえば「お寺の顔」婦人会が元気だと別院も明るく見えるんです。お彼岸や報恩講などの法要の時に「お斎」の接待などをしていただいています。普段は毎月七日の午後一時三十分より定例アトラクション(吉本興業 漫才おかけんた・ゆうた マジック ジョニー広瀬・霞)を一階ホールで行い、午後六時よりト」を実施しました。今回は中国古箏奏者伍芳(ウーファン)さんを迎えて「想い偲びー」と題して別院本堂にて厳粛な霧雨氣の中、約一時間三十分の演奏会を実施しました。二百席の本堂が満堂となり、アンコールを含め全十一曲をシンセサイザー奏者林秀茂氏、パークッシュニスト山村誠一氏との息の合った演奏で私たちをしばしの間楽しませてくれました。今後も「夕暮コンサート」は続けていきたいと考えています。普段のお寺とはまた違った雰囲気を楽しんでもらえると思います。普段のお寺とはまた違った雰囲気を楽しんでもらえると思います。一度来られてみてはいかがでしょうか。



毎月第四土曜日は別院の中が賑やかになります。子どもたちの明るい元気のいい声が別院の雰囲気を一気に和ましてくれます。子どもたちの中には「第四土曜日が楽しみ」「早く子ども会の日にならないかな!」とこの会を心待ちにしている子どももいるようです。年に一度夏休みを利用して別院で一泊する「マースクール」など普段のお寺ではなかなか体験できない貴重な時間を過ごして子供たちにはお寺に「慣れ親しんでもらいたい」と考えています。どなたでも参加してもらえてますので遊びにきてください。

特集 「浄土真宗の作法」 第六回

「お仏壇の莊嚴」

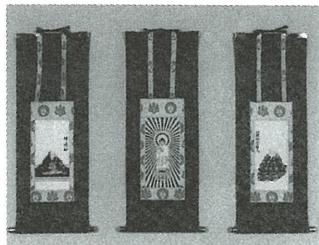
「お仏壇とは?」

お仏壇とは、私たちをお救いくださる阿弥陀如来を安置するもので、最も尊厳な場所であり家庭生活の中心となるものです。お仏壇は家庭を船にたとえますと船で言う羅針盤と同じなのです。羅針盤によって船は広い海の真中でも目的地に自らが進んでいく方向を知ることが出来ると同じように、私たちが往く方向を知らせてくださるのです。

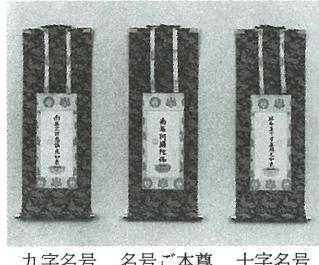
お仏壇とは心の依り所であり家の中心となるものなのです。

「知つておきたい」と

- ・淨土真宗では「位牌」は用いません。
- ・ご安置する方角は気にせずに家族が心静かりません。
- ・お仏壇の購入と「死」に因果関係はありません
- ・お仏壇を求める時は「宗派名」をはっきりさせん
- ・家ごとにお仏壇を安置しましょう



蓮如上人 絵像ご本尊 親鸞聖人



九字名号 名号ご本尊 十字名号

「礼拝の対象」

お仏壇で最も大切なのはご本尊である「阿弥陀如来」です。中央にご安置するのがご本尊、左右の両壇にはお脇掛けをご安置します。

・中央 = 阿弥陀如来の「ご絵像」もしくは

「六字名号」(南無阿弥陀仏)

・右脇 = 宗祖「親鸞聖人のご影」もしくは

「帰命尽十方無碍光如来」(十字名号)

・左脇 = 本願寺中興の祖「蓮如上人のご影」

もしくは「南無不可思議光如来」(九字名号)

お仏壇は本願寺のお内陣を小型化したものであります。ただ、お仏壇には大小さまざまなものがありますので、お飾りの仕方については大きさやご安置する場所に応じてしていただけたらいいかと思います。

仏前結婚式の申し込みについて

結婚式というものは縁あつてめぐり会い結ばれた二人が新たな人生を歩み出す発となる大切な儀式です。別院では、そうしたお二人の人生の新たな門出のお手伝いをさせて頂いています。詳しくは神戸別院までお問い合わせください。

本願寺神戸別院仏前結婚式

ご結婚おめでとう

一月二十二日（土）
新郎 森 鳩 円智 行
新婦 森 香 行

一月二十三日（日）
新郎 横谷 中
新婦 山本 絵里子 さん
と さん

門信徒の皆様へ

年忌法要の申し込みについて

神戸別院では門徒の方々からの年忌法要の申し込みを随时受け付けています。別院からも事前にご案内を送らせていただいておりますが、

土、日、祝日に集中しますので場合によっては日程の変更をお願いすることもあります。その際にはご了承ください。

本願寺神戸別院行事・法座案内

平成12年3月

平成12年4月

平成12年5月

<p>• 第1土曜仏教講座 4日（土）午後1時30分 「御縁をむすんで」 講師 大阪教区島下組光徳寺 直海玄哲師</p> <p>• 仏教婦人会定例法座 7日（火）午後1時 講師 神戸中組西方寺 本川英暉師</p> <p>• 別院定例法座 15・16日（水・木）午後1時30分 講師 神戸中組極楽寺 岡本幸信師</p> <p>• 春季彼岸会 19・20・21日（日・月・火）午後1時30分 講師 奈良教区高市組福栄寺 境山正仁師</p>	<p>• 第1土曜仏教講座 1日（土）午後1時30分 「私のご縁」 講師 備後教区 鴨川北組円福寺 三條義見師</p> <p>• 仏教婦人会定例法座 7日（金）午後1時30分 講師 出石組正福寺 藤岡貞賢師</p> <p>• 别院定例法座 15・16日（土・日）午後1時30分 講師 城崎組本誓寺 堀川宣裕師</p> <p>• 别院定例法座 15日（月）午後1時30分 講師 出石組乗専寺 本多龍雄師</p>	<p>• 仏教婦人会定例法座 7日（日）午後1時30分 講師 神戸湊組光明寺 山西昭義師</p> <p>• 降誕会 16日（火）午後1時30分 講師 出石組乗専寺 本多龍雄師</p>
---	--	---

編集後記

今回のモダン寺新聞いかがでしたでしょうか？皆さんの率直なご意見お聞かせください。批評でも何でも結構です。今後は内容を少しづつリニューアルしていきたいと考えています。私たちからの一方通行の新聞ではなく、皆さんからのご意見も取り入れていきたいと考えています。ご門徒さんと別院とを結ぶ掛け橋になればと思っています。

「こんなことを聞いてみたいけど」とか、普段の月参りなどでは時間が足りず、どうも聞きにくいことなど何でも結構です。

年間四、五回程度の少ない発行数ですが皆さんからの質問などにもお答えできるよう私たちも勉強していく、すこしでもお力になれればと、思っています。皆さんからのご意見などたくさんくることを願いつつ……

